

短納期・小ロット

オンデマンド印刷

事例集
(その2)

●50枚からできるカラー封筒印刷
＜長3サイズ以上の定型封筒にカラー印刷できます＞



50枚からOK!
長3サイズ以上

お気軽にお問合せ下さい!

●利用例
展示会・セミナーでの資料配布
新商品・新サービスのキャンペーン
周年記念の告知
DM発送用 など



株式会社 宏和

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<http://www.d-kowa.co.jp/>

Kowa Corporation

<http://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
電子化業務 紙文書・紙図面スキャニング(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャニング、WEB制作

コウカノカ

5

Vol.08

発行所：株式会社宏和
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウカノカ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.08

2016

5

May



少し前に、書庫に保管されている紙図面、技術資料を電子化(スキャニング)して納品させていただいた製造業のお客様を訪問しました。着手前は、「電子化しても利用価値があるかな?」と話されていたのですが、実際データになって自分の席ですぐに過去の案件が閲覧できるようになると、参照回数が増えたとの事でした。特に、若手社員は書庫に行って図面を探すのがベテランと違い苦手だったようで、データになるとかなり参照するようになったようです。やはりデジタル世代ですね。仕事のやり方も否応なくますます変化していくように感じます。

代表取締役 日笠宏昭



モノづくりの貴重な戦力・ベトナム人技能実習生



1993年にスタートした「外国人技能実習生制度」。諸外国の青壮年労働者を3年間産業界に受入れて、産業上の技能等を修得してもらい、帰国後自国の経済発展・産業振興の担い手となってもらう目的でスタートしました。当初の目的とは違う方向ではありますが、日本のモノづくりで貴重な戦力となってきているベトナム人技能実習生の話題を採り上げてみました。



新規受入実習生	全体数	ベトナム人	中国人
2011年	48,000	4,000	39,000
2012年	44,000	5,000	35,000
2013年	40,000	6,000	29,000
2014年	47,000	11,000	27,000
2015年(速報)	49,000	17,000	21,000

※JITCO(国際研修協力機構) 入国支援技能実習生：速報ベースの統計(千以下は四捨五入)

上記からわかるとおり、中国人の減少、ベトナム人の増加が顕著になっています。

日本の中小製造業での人手不足という大きな要因はありますが、言葉の壁があるにもかかわらず、なぜベトナム人実習生が増えているのでしょうか？個人差があるので一概には言えませんが、主に下記の点があげられると思います。



- ・まじめで就業意欲が高い
- ・親日である
- ・我慢強く手先が器用で製造現場に向いている
- ・たとえ3年間でも人材が定着する
- ・一生に一度の制度なので、忍耐と集中力がある

ベトナム人実習生の長所



2003年からベトナム人技能実習生を受入れている株式会社仁張工作所 仁張社長にお聞きしました

Q ベトナム人実習生の受入れは現在12期生、延べ25名とのことですが、受入の動機は何でしたでしょうか？

A 当時高卒採用者が定着せず困っていたことと、視察旅行でベトナム及びベトナム人に好印象を持ったことです。

Q 実際にスタートしてからはいかがでしたか？

A 若いベトナム人が一生懸命頑張る姿が、日本人社員にも良い影響を与え、「もっと増やそう、毎年来てもらおう」に変わっていきました。

Q 実習生は3年で帰国しなければなりません、その点をどう考えておられますか？

A 毎年採用し、先輩が後輩を教えるシステムを作りました。実習生も、逆に3年という期限があるから頑張れる、ということも理解して、プラスの方向に持っていくことが大切です。

Q 実習生の日常管理で気を付けていることは何ですか？

A 必要以上にかまわない、お客様扱いはしない、日本語がわかるようになるよう支援する、生活面の些細な変化に気を配る、といったことです。

Q 受入れに関して社内で反対はなかったですか？

A 私が全責任を負う形で実行しました。

Q 実習生の仕事内容は何ですか？

A 2003年からずっと溶接作業に携わってもらっていましたが、昨年から初めて1名を塗装作業として追加で受入れました。

Q 実習生に対してどのようなアドバイスをしていますか？

A まず日本語をマスターすること、何のために日本に来たかを常に考えて、ベトナムに帰国後、「あの3年間は本当に良かった」と思えるように、目標を見直し新たに設定すること、を話しています。

Q 実習生制度の今後についての見通しはいかがでしょう？

A 時間外労働に対する規制が厳しくなる等の制度面の变化、ベトナム人の若者の気質の変化、ベトナム及び日本の雇用環境の変化、当社の変化、などすべて絶えず変わっていますので、それに応じて今後の方向を模索していきたいと考えています。



現場だけに任せず、自らも実習生との対話の時間を持つなど、コミュニケーションを絶えずとっておられるのを拝見し、ベトナム人実習生の受入で大変成功されている秘訣を垣間見たように思います。最近、実習生の逃亡の問題がよく取り上げられています。一部質の悪い実習生もいますが、大半は実習生本人の問題というよりは、残業代の未払い、労働条件が取り決めと異なる、指導もせずに仕事をさせて置けば罵倒する等、受入れる側の問題が大きいと感じます。

紙面が限られますので、制度、費用、採用など詳細は書けませんでした。弊社代表者はボランティアで認定 NPO 法人日越関西友好協会会員、及び在関西ベトナム人会副会長をさせていただいております。実習生制度に関わらず、ベトナムに関するご質問等ございましたらお気軽にお声かけください。